

水性塗料の設計技術との課題、顔料分散剤の利用技術・外観低下トラブルの原因と対策管理

講師：郷司 春憲氏

郷司技術士事務所 技術士(化学部門)

水を溶媒とする水性塗料では樹脂など構成材料が不均一系であることに加え、水の特性に起因する様々な課題がある。これらの課題解決のため水性バインダー樹脂の設計や添加剤の選択が行われている。水性塗料の概要と製造方法を説明し設計課題と対処方法について解説する。

顔料分散では顔料の濡れなど水性特有の課題があり、顔料分散剤を利用した分散性の改良技術を解説する。

水性塗料の乾燥過程では液体から固体への状態変化や架橋反応に加えて、水性から油性への相変化が起こる。また、バインダーがエマルジョンなどの不均一系であり塗膜形成過程は非常に複雑で、乾燥過程で顔料凝集が起こり、トラブルが生じやすく注意が必要である。乾燥過程での顔料の凝集状態評価や外観不良、さらに増粘剤などの添加剤と顔料の相互作用などのトラブルと解決策の事例を紹介する。

【講師経歴】 1978年 日本ペイント(株)に入社 顔料分散などの界面化学に関する研究開発 塗料の生産技術開発に従事 技術開発プロジェクトマネージャー 生産技術研究部長などを歴任 2008年～2013年 (社)色材協会理事 2014年 日本ペイント(株)退職、2014年 郷司技術士事務所開設 ナノ粒子分散技術開発 水性塗料開発などの分野で技術アドバイザーとして活動中

【活動】 ①界面化学分野の研究開発 ②塗料の生産技術開発 色材協会、日本技術士会会員

開催日時	2017年4月11日(火) 13:30～16:30	【会場】 ちよだプラットフォームスクウェア 503 会議室 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-21
受講料	42,000円(税込) ※資料代含 *メルマガ登録者は39,000円(税込) *アカデミック価格は25,000円(税込)	

★2名同時申込で両名とも会員登録をさせていただいた場合2人目は無料です。★【セミナー対象者】これから水性塗料・インキの設計に取り組まれる方、水性塗料・インキの開発に携わっているが分散や塗膜外観などで課題を持っている方、水性塗料の品質管理などに携わっている方など。

★【セミナーで得られる知識】①水性塗料設計の基礎知識 ②顔料分散の考え方 ③顔料分散剤の選択方法 ④添加剤選択の考え方 ⑤塗膜中の顔料分散状態評価 ⑥顔料分散不良の原因と対策

【本セミナーのプログラム】

※適宜休憩が入ります。

- | | |
|---|--|
| 1. 水性塗料とは
1.1 水性塗料の構成
1.2 水性塗料の製法
1.3 水性樹脂の基本知識と開発動向
1.4 水性での硬化技術
1.5 水の特性と水性塗料設計の課題 | 3. 水性塗料設計の留意点
3.1 塗装作業性
3.2 レオロジーコントロールの必要性
3.3 レオロジーコントロールの手段
3.4 ワキ、タレ、ハジキの制御 |
| 2. 水性での顔料分散の課題
2.1 水性での顔料分散の考え方と課題
2.2 顔料分散剤の構造と利用技術
2.3 顔料分散剤の選択方法 | 4. 顔料分散不良による外観低下の原因と対処方法
4.1 成膜乾燥過程での分散状態変化
4.2 塗料中での材料間の相互作用と凝集
4.3 塗料・塗膜中でのナノ粒子の安定性維持 |

弊社記入欄		セミナー申込書			
セミナー名		水性塗料の設計技術との課題、顔料分散剤の利用技術・外観低下トラブルの原因と対策			
所定の事項にご記入下さい メルマガ会員、登録希望の場合は○↓		会社名(団体名)	TEL :		
		住所 〒	FAX :		
		E-mail :			
会員登録済み	新規登録希望	部署	役職	氏名	
お支払方法		銀行振込・その他		お支払予定	2017年 月 日頃

■申込方法：セミナー申込書にご記入の上 FAX または E-mail(re@cmcre.com)でお申し込みください。

■申込先：(株)シーエムシー・リサーチ 東京都千代田区神田錦町2-7 TEL03-3293-7053

■本セミナーの関連情報は、弊社HPでもご覧になれます。⇒ <http://www.cmcre.com>

参加申込 FAX 番号
03-3291-5789